

「防災コンテスト」による地域防災活動手法の展開と課題について -2014年度の取組みを中心に-

発表のながれ

1. 概要紹介
2. 事例と課題
3. 今後の展開

(研) 防災科学技術研究所
崔 青林

名大・NIED研究交流会@東京国際フォーラム

防災コンテスト

概要紹介

地域の防災活動を支援する取り組みとして、『防災コンテスト』（e防災マップ・防災ラジオドラマ）を開催。

- 防災活動の**はじめの一步**
- 防災活動の**継続・展開**
- 防災活動の**専門的な評価**
- 防災活動の**知恵の共有**



【提供キット（情報・ツール）】



防災活動に関する手引き・資料集等（冊子）



防災活動の事例集（冊子） 防災活動事例・ツール

主催 NIED 後援 内閣府 文部科学省

防災コンテスト 検索

防災コンテストの狙い

概要紹介

社会還元

研究成果の全国への普及

- ・ 地域防災活動手法と支援ツールの活用
- ・ 実践事例の共有

実証実験

全国を対象とした有効性評価

- ・ 防災活動実践手法に関する有効性評価

防災活動の実践手法

概要紹介

■ 地域住民向け



防災コンテストの評価軸（■防災、■活動、■作品）

| | | | |
|------|---|------|--------------------------------------|
| 調査理解 | 地域の災害特性や防災対策の現状、地域課題について調査し理解していること。 | 協力 | 地域のさまざまな関係者と協力しながら作品をつくっていること。 |
| アイデア | 地域防災上の新たな課題や改善につながるアイデアが含まれていること。 | 活用交流 | 作品を活用し、地域の様々な関係者とコミュニケーションを図っていること。 |
| 提案 | 地域防災上の現状を見直し、新たな防災の取り組みにつながる提案となっていること。 | 作品 | 作品として優れたもので、作品に含まれているメッセージが地域に伝わること。 |

防災コンテストの実施状況

概要紹介

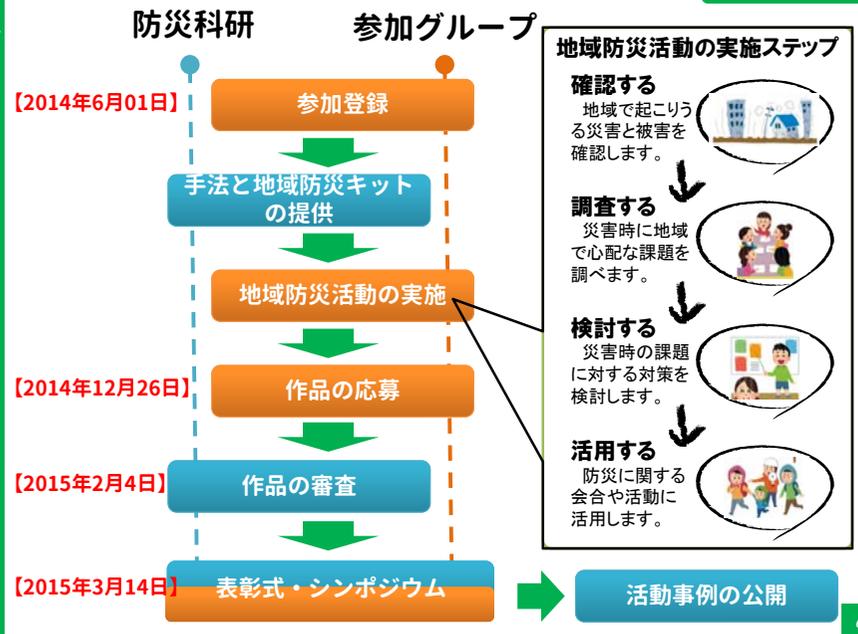
| 実施年 回 | 応募数 | |
|------------|-----------|--------------|
| | e防災マップ | 防災ラジオ ドラマ |
| H22 第1回 | 82 | 57 |
| H23 第2回 | 35 | 34 |
| H24 第3回 | 59 | 56 |
| H25 第4回 | 53 | 27 |
| H26 第5回 | 77 | 36 |

- 多様な地域コミュニティの参加
 - 町内会、自治会など住民組織（防災・非防災）
 - 趣味サークル・集団
 - 学校・教育機関
 - 福祉団体、まちづくり団体、公民館など
 - コミュニティFM局、NPO、一般企業 等
- 多様な作品づくり（地域防災）の視点
 - 平時地域防災上の課題や対策に関するもの
 - 小中学校の防災教育に関するもの
 - 地域の防災意識啓発に関するもの
 - 災害時の地域被害に関するもの
 - 災害時の安全な避難や対応に関するもの
 - 要援護者等の災害対応に関するもの
 - 過去の地域の災害履歴や経験に関するもの
 - 災害経験や史実から得られた教訓に関するもの

※H27年度：
第6回防災コンテストが開催中

防災コンテストの流れ【第5回防災コンテスト】

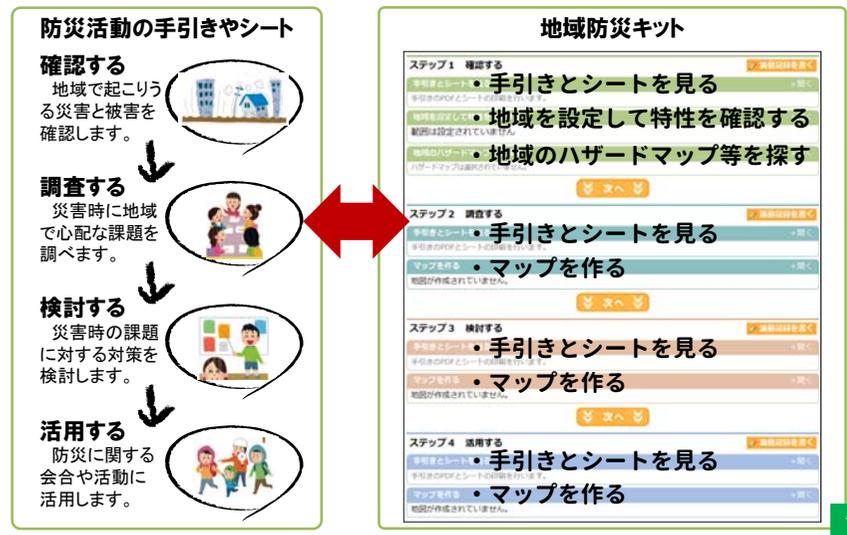
概要紹介



防災活動の手引きと地域防災キットの提供

概要紹介

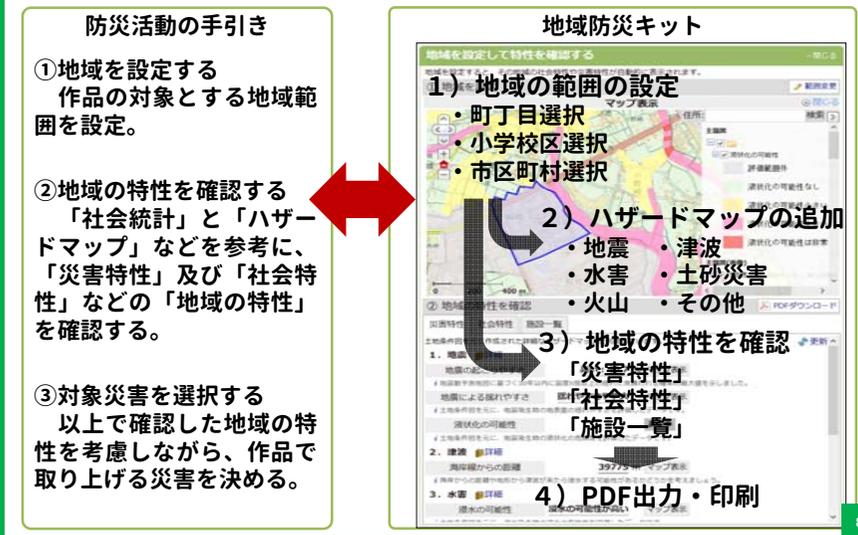
「防災活動の手引きやシート」と「地域防災キット」を用いて、防災コンテストで推奨する防災活動（4つのステップ）を通じた作品を制作し活用する。



ステップ1 確認する

概要紹介

地域の特性（災害特性と社会特性）を考慮しながら地域で起こりうる自然災害と被害の程度を確認する。



ステップ2 調査する

概要紹介

地域の特性（災害特性・社会特性）を考慮した被害をイメージしながら、地域で懸念される課題を調査する。

防災活動の手引き

- ① 防災条件を設定する
災害の被害が深刻に展開しそうな防災条件を設定する。
- ② 地域課題を調査する
図上議論や防災まちあるき等を通じて地域課題、地域の現状、関係者の実態などを調査する。
- ③ 対象課題を選択する
上記の課題のうち、地域の「現状」と「関係者」を考慮しながら作品テーマを選択する。

課題マップの作成・応募可

地域防災キット

- 1) マップを作成する
 - ・タイトルの作成
 - ・マップの説明
- 2) ハザードマップを選択
 - ・ステップ1で追加済みのハザードマップから選択
- 3) おすすめの項目を選択
 - ・防災資源（人・もの）
 - ・社会資源（人・もの）
- 4) これまで作った項目を選択
 - ・おすすめ項目以外に、新たに登録した項目

(例) 調査データを集約したマップ

ステップ3 検討する

概要紹介

災害時の地域課題に対し、災害時の対応とそのための日頃から備えておく対策を検討する。

防災活動の手引き

- ① 課題を確認する
地域の「課題」をもう一度確認する。
- ② 対策を検討する
地域の「課題」に対し、以下の視点から対策を検討する。
 - ・災害時の対応の流れ：望ましい対応（時系列）
 - ・平時から必要な備え：平時か準備をしておくこと
 - ・必要なこと：利活用可能な地域資源（人、もの、施設など）

対策マップの作成・応募可

地域防災キット

検討用マップを作成する ※ステップ2を参照

(例) 避難経路の検討マップ

- ・脆弱性
- ・リスク

対策検討
・安全な避難経路
・集団避難の流れ

ステップ4 活用する

概要紹介

作品を用いて、地域の方々と課題と対策を共有したり、意見をもらって見直すなど、様々な方法で活用する。

防災活動の手引き

- ① 地域の方と共有する
作品を以下の様々な方法で地域の方と共有する。
 - ・（マップ）展示：地域の方が確認できるように、e防災マップを展示
 - ・（ドラマ）収録：地域の方が集まった声優になって音声収録する
 - ・配布・放送：地域の回覧板や公共施設で地域の方に配布・放送
 - ・防災訓練：防災訓練を実施して対策の実践可能性を検証
- ② 意見交換する
地域の方に意見をもらったり、協力をお願いして、作品の見直す。

活用マップの作成・応募可

地域防災キット

活用するマップを作成する ※ステップ2を参照

(例) 地震災害を想定した防災マップ

- ・登録すべき情報を整理
- ・アクションにつながるような情報を示す

印刷

作品の共有・意見交換

- ・検証
- ・見直し
- ・実践訓練 など

金栄校区自主防災会【第5回防災コンテスト】速報

事例と課題

- 金栄校区地震・浸水避難経路防災マップ
- 地震、風水害
- 愛媛県新居浜市

河床洗掘箇所

防災広報無線

避難施設

名称：金栄公民館
詳細（連絡先、义工等）：
金栄校区避難所（海拔11m・16年 台風21号 浸水）



- 校区の自主防災会と学校の協働
- 調査、防災マップづくりとマップを使った地域防災課題の検証など、模範的な活動プロセス
- 想定する災害別に安全性を配慮した避難経路の検討

金栄校区自主防災会【第5回防災コンテスト】速報 事例と課題

- 金栄校区地震・浸水避難経路防災マップ
- 地震,風水害
- 愛媛県新居浜市

Map
最優秀賞
新規/継続
非防災/防災



■ 主な活動（活動履歴より） （9月～12月@計11回実施）

| 主な活動（↓時系列） | 関係者 |
|-------------|---------|
| 全体打ち合わせ | 参 住 学 自 |
| 防災学習・防災教育 | 参 学 自 |
| 防災まち歩き | 参 住 学 自 |
| 防災マップ打ち合わせ | 参 |
| 防災マップ作成 | 参 学 自 |
| e防災マップ入力作業 | 参 学 自 |
| e防災マップ評価検討会 | 参 学 自 |

- 参加グループ
参 金栄校区自主防災会

- 協力・関係組織
住 住民組織
学 学区連合自治会
学 学校・教育機関
自 金栄小学校
自 自治体
自 市防災安全課
自 公民館関係者

金栄校区自主防災会【第5回防災コンテスト】速報 事例と課題

- 金栄校区地震・浸水避難経路防災マップ
- 地震,風水害
- 愛媛県新居浜市

Map
最優秀賞
新規/継続
非防災/防災



参加者アンケート

- 「公開資料」について
- ・記入シートの作成事例がほしい。
- 「グループページ」について
- ・詳細な活動記録を残せたので、引き継ぎがしやすくなる。
- 「eコミマップ」について
- ・矢印などの方向性、標高の表示機能がほしい。
 - ・統合などで、凡例をもっとシンプルにしてほしい。

- 「防災活動」について
- ・校区と学校が一体となることのできた。
 - ・地域の特性が変化するもので、防災マップを定期的に見直す必要がある。
 - ・マップの見直し（H27年度）

※課題

星崎学区連絡協議会【第5回防災コンテスト】速報 事例と課題

- 星崎学区防災マップ
- 地震,津波,その他【液状化】
- 愛知県名古屋市

Map
優秀賞
(継続発展)
新規/継続
非防災/防災



4階以上の建物

地域防災協力事業所

津波避難ビル

- 過去の活動成果を活かし、さらに要援護者支援のための幅広い協力体制づくりを実施
- 一次避難経路と避難所間の二次避難経路を区別した表現
- シンプルなアイコンの使用など、非常時のアクションにつながりやすい工夫

星崎学区連絡協議会【第5回防災コンテスト】速報 事例と課題

- 星崎学区防災マップ
- 地震,津波,その他【液状化】
- 愛知県名古屋市

Map
優秀賞
(継続発展)
新規/継続
非防災/防災



■ 主な活動（活動履歴より） （7月～12月@計21回実施）

| 主な活動（↓時系列） | 関係者 |
|------------|---------|
| 活動紹介 | 参 |
| 全体打ち合わせ | 参 住 学 |
| 防災講座の実施 | 参 住 学 自 |
| 防災資源を知る | 参 |
| 安政東海地震を知る | 参 |
| 防災訓練の実施 | 参 住 学 |
| 防災マップの検証 | 参 |
| 年度活動まとめ | 参 自 |

- 参加グループ
参 星崎学区連絡協議会

- 協力・関係組織
住 住民組織
学 防災安心まちづくり委員会
学 学校・教育機関・PTA
自 PTA
自 自治体関係
自 区役所・消防団など
社 会社・NPO

星崎学区連絡協議会【第5回防災コンテスト】速報 **事例と課題**

- 星崎学区防災マップ
- 地震,津波,その他【液状化】
- 愛知県名古屋市

Map
優秀賞
(継続発展)
新規/継続
非防災/防災



年度総括会議

参加者アンケート

「公開資料」について

・手引きの順番があったので、とても参考となっている。

「グループページ」について

・活動記録が地域住民に公開できる。

「eコミマップ」について

・土地条件図など普段に知らないものも使用することができた。
・ゼンリンの住宅地図が利用できるようになってほしい。

※課題

「防災活動」について

・防災訓練に参加する住民が増え、危機管理意識も高まった。
・高齢者や障害者の情報をマップ上で表現することに課題が残った。
・作ったマップを活用して隣接する小学校区とも協働したい。
・ガバナンスがとても重要だと考えるが、意思決定や合意形成は難しい。

豊橋市障害者福祉会館【第5回防災コンテスト】速報 **事例と課題**

- 障害者が避難所にきたら
- 地震
- 愛知県豊橋市

Radio
最優秀賞
新規/継続
非防災/防災

ABグループ(身体障害、他) 登壇人物

| | |
|------|-------------------|
| 櫻島さん | 豊橋市議員 |
| 藤原さん | 市内住民 |
| 前田さん | 市内住民 |
| 林さん | 豊橋市議会、豊橋市障がい者センター |
| 野村さん | 市内住民 |
| 岡田さん | 市内住民 |

ライフラインがストップしてしまうと



車いすダンスSHOW&逃げましょう!



活動のチラシ

■地域の障がい者や支援者、一般住民が、ワークショップ形式で防災ラジオドラマを作成
■障がい者の視点から発災時において必ず起こる事案を障がい別に、脚本化
■充実した体験型防災活動も同時実施

豊橋市障害者福祉会館【第5回防災コンテスト】速報 **事例と課題**

- 障害者が避難所にきたら
- 地震
- 愛知県豊橋市

Radio
最優秀賞
新規/継続
非防災/防災



体育館宿泊体験

■ 主な活動 (実施報告書より)

(9月27日、28日)

| 主な活動 (↓時系列) | 関係者 |
|-------------|---------|
| 講演・避難訓練 | 参 |
| 防災ラジオドラマづくり | 住 福 自 社 |
| 宿泊体験・非常食試食 | 自 専 社 |
| まとめと公表 | |

■ 見学者

- 自 他自治体の職員
- 専 大学の研究者
- 社 防災関係の会社

- 参加グループ
 - 参 豊橋市障害者福祉会館 (さくらピア)
- 協力・関係組織
 - 住 住民・組織
 - 福 障がい者、支援者、一般福祉団体
 - 自 障害者団体連絡協議会
 - 自治体関係
 - 社 区役所・消防団など
 - 社 会社・NPO・社団

豊橋市障害者福祉会館【第5回防災コンテスト】速報 **事例と課題**

- 障害者が避難所にきたら
- 地震
- 愛知県豊橋市

Radio
最優秀賞
新規/継続
非防災/防災



脚本づくり

参加者アンケート

・実際の事をみんなで想像しながら作ったが、おそらく現実にはこんなにスムーズには進まないだろう。
・新しい企画で面白かったが、想像力が必要なので、難しかった。
・実際の現場に立ち会った時は、自分が困っている方のできる範囲で協力していきたい。
・障害の方と地域のつながりがまだできていない気がする。

・障害者の生の声が、発災時の対策に活かされていないと感じた。
・1時間30分は長いと思ったが、全然時間が足りなかった。
・「第一避難所」「自主防災会」「避難所要員」等の防災、避難所の基本的な事を知らない事を再認識し反省した。
・防災ラジオドラマ作りの内容を、いろんな人に知ってもらいたい。

※実施報告書より、課題や今後の展開を中心に抜粋 (豊橋市障害者福祉会館が実施)

防災パートナーの会【第5回防災コンテスト】速報

事例と課題

- 富士山のふもとで暮らすということ
- 火山噴火
- 静岡県富士市

Radio
優秀賞
(地域調査)
新規/継続
非防災/防災



■ FMラジオ局と市役所と連携した活動

■ 富士山の噴火について、行政からの専門的知見を調査し、その調査結果を参考資料としてまとめ・公開

■ 市主催のイベントに、地元のコミュニティFM局の枠で参加



防災パートナーの会【第5回防災コンテスト】速報

事例と課題

- 富士山のふもとで暮らすということ
- 火山噴火
- 静岡県富士市

Radio
優秀賞
(地域調査)
新規
非防災



■ 主な活動（活動履歴より） （7月～12月@計9回実施）

| 主な活動（↓時系列） | 関係者 |
|------------------------|-------|
| 応募とグループページの確認 | 参 |
| 富士市防災マップや富士山ハザードマップの紹介 | 参 自 |
| 過去の受賞作品（冊子、CD）から学ぶ | 参 自 |
| 脚本の検討 | 参 自 |
| 富士Bousai2014に参加 | 参 自 社 |
| ドラマの録音 | 参 自 |

■ 参加グループ
参 防災パートナーの会

■ 協力・関係組織
自 自治体関係
市危機管理課職員
社 会社・NPOなど
Radio-f（ラジオエフ）

防災パートナーの会【第5回防災コンテスト】速報

事例と課題

- 富士山のふもとで暮らすということ
- 火山噴火
- 静岡県富士市

Radio
優秀賞
(地域調査)
新規
非防災



参加者アンケート

「公開資料」について

- ・制作過程において自分達だけでは知りえなかった情報は役に立った。
- ・昨年の受賞作品はミーティングの際に聞かせてもらった。

「グループページ」について

- ・活動記録が残せたので、よかった。

「eコミマップ」について

- ・難しそうなイメージがあり、利用しなかった。

※課題

「防災活動」について

- ・今まで気にしていなかった地域の活動内容に興味湧き、地域での活動報告書をしっかりと読むようになった。
- ・参加する人数が少なく、学生以上既婚者以外が少ない。
- ・地元のラジオで放送できた。
- ・成果を活かして、もう少し身近な防災を私たちは広げたい

小林市【地域版防災コンテスト】速報

事例と課題

■ 小林市e防災マップコンテスト ・活動期間：平成26年9月～12月

◆ 審査会・表彰式内容：

- ・時間：平成27年2月25日（水）18:30～21:00
- ・内容
・自主防災組織のプレゼンテーション（永田町区、上町中区、南西一の西区、南西二区、南西三区、北西一区、北西三区、木場公民館）
- ・表彰式典

◆ 審査の結果：

- ・最優秀作品：1点（上町中区）
- ・優秀作品：2点（南西四区、北西三区）

■ 特徴

- ・小林市主催と支援（支援金、活動支援）
- ・小林市域の自主防災組織が参加
 - ・地域住民が多数参加
 - ・互いに活動成果の共有と利活用
 - ・市長による表彰式典



今後の展開

今後の展開

■ 他の防災系コンテストとの連携

- » 防災コンテスト（主催：防災科研）
- » 防災甲子園（主催：兵庫県、毎日新聞社、ひょうご震災記念21世紀研究機構）
- » 防災教育チャレンジプラン

（主催：内閣府、防災教育チャレンジプラン実行委員会）

■ 住民向け地域防災活動の支援拠点（ウェブ）

- » 地域住民向け災害リスク情報の整備促進
- » 災害リスク情報の流通環境の改善
- » 防災活動手法の充実
- » 事例コンテンツの充実

■ 自治体主催の防災コンテスト（小林モデル）

- » 地方自治体
 - 防災コンテスト（全国版）の仕組みを活用
 - 課題の指定や支援コンテンツの整備（必要があれば）
 - 制度支援と資金支援（あればなおいい）
- » 中間支援組織による技術支援
- » 専門家による活動支援

など